



特定非営利活動法人ネクスト

A型事業所 ネクスト B型事業所 econte

活動の経緯・ネクストの理念

- 平成24年12月 就労継続支援A型事業所ネクスト 活動開始

「人と地球にやさしいものづくり」の理念のもと、障がい者の方の働く場がほとんどない地域で「継続的な就労の場を提供する」とことと「自立した社会生活を送れるように支援を行うこと」を目的に設立しました。その目的のためには、最低賃金を保障し社会保険加入を目指せるA型事業所であることが重要でした。

- 平成27年4月 就労継続支援B型事業所econte 活動開始

これから社会に出る障がい児（者）と就労を結び付けていくシステム、すなわち、修学（卒業）から就労へ、直接途切れることなくつなげていけるような仕組みづくりが必要であると考えに至り、基礎的な就労支援を行うことを目的にB型事業所を設立するとともに、学校教育機関との連携を深めてきました。A型ネクストは第11期目、B型econteは第8期目に入りました。平成27～令和4年4月まで3つの支援学校から計12名の実習生・卒業生を受け入れ、令和元年度は法人全体で5名を一般就労へ送り出しました。「支援学校→（B型→A型）→一般就労」という体系的・継続的な障がい者就労支援が確立しつつあると感じています。（令和3年度はコロナ禍の影響もあり、残念ながら一般への移行はありませんでした。）

データで見る現状

利用者数・職員数（R4年4月1日現在）

サービス種類（開設年月）	利用者数（定員数）	職員数
A型（H24.12）	35名（20＋施設外就労20）	常勤職員 9名 非常勤職員5名
B型（H27.4）	15名（20）	常勤職員 5名
法人全体	50名	常勤職員14名非常勤職員5名（計19名）

A型事業所	男性	女性	B型事業所	男性	女性
10代・20代	3名	2名	10代・20代	5名	3名
30代	4名	3名	30代	0名	0名
40代	9名	0名	40代	1名	2名
50代	6名	3名	50代	1名	0名
60代	6名	0名	60代	2名	1名
合計	27名	8名	合計	9名	6名

利用者の男女別年齢層（R4年4月1日現在）

A型事業所		B型事業所	
身体障がい者	6名	身体障がい者	0名
知的障がい者	21名	知的障がい者	12名
精神障がい者	8名	精神障がい者	3名
(内)重複障がい者(※)	(2名)	(内)重複障がい者(※)	(1名)
合計	35名	合計	15名

利用者の障がいの内訳（R4年4月1日現在）

利用者の給与実績表

A型事業所

給与・工賃支給月	R3.11 給与	R3.12 給与	R4.1 給与	R4.2 給与	R4.3 給与	R4.4 給与
利用者（人）	33	34	34	34	34	36
給与合計（円）	3,775,280	4,007,881	3,603,733	3,326,055	3,431,076	4,183,130
平均給与（円）	114,402	117,879	105,992	97,825	100,914	116,198

B型事業所

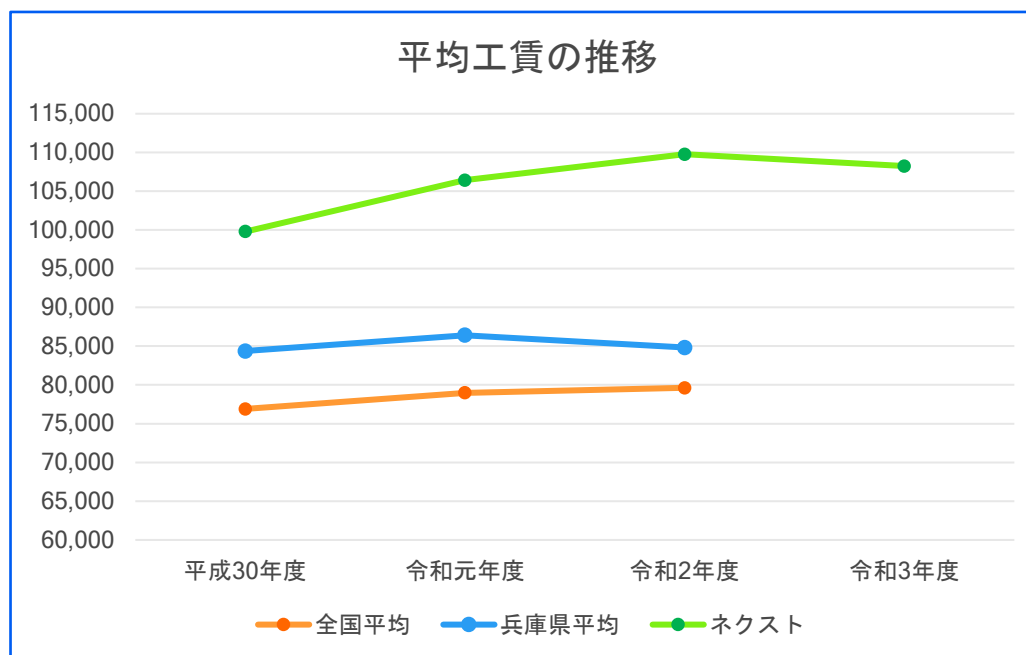
給与・工賃支給月	R3.11 給与	R3.12 給与	R4.1 給与	R4.2 給与	R4.3 給与	R4.4 給与
利用者（人）	14	14	13	13	13	14
給与合計（円）	314,260	481,880	298,085	271,305	302,285	373,710
平均給与（円）	22,447	34,420	22,930	20,870	23,253	26,694
平均給与 25h/週 就労 ※	25,237	41,544	25,990	23,708	24,590	30,043

※5日/週、5時間/日を目標に就労されている利用者さん

厚生労働省の調査による平均賃金との比較

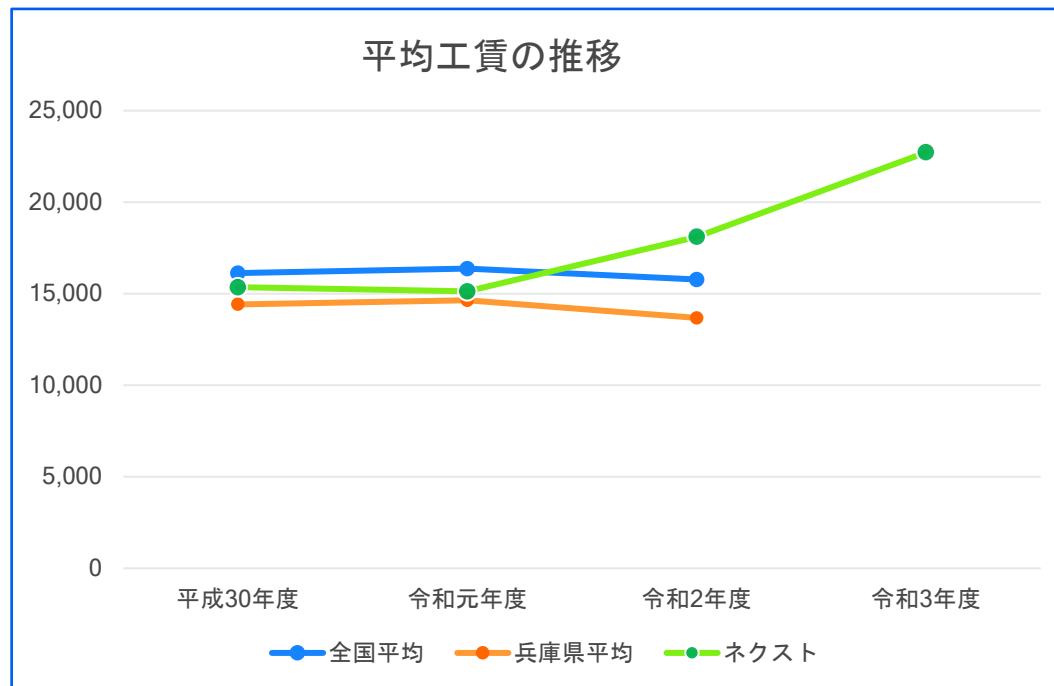
A型事業所

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全国平均	76,887	78,975	79,625	未公表
兵庫県平均	84,358	86,418	84,827	未公表
ネクスト	99,786	106,416	109,773	108,241



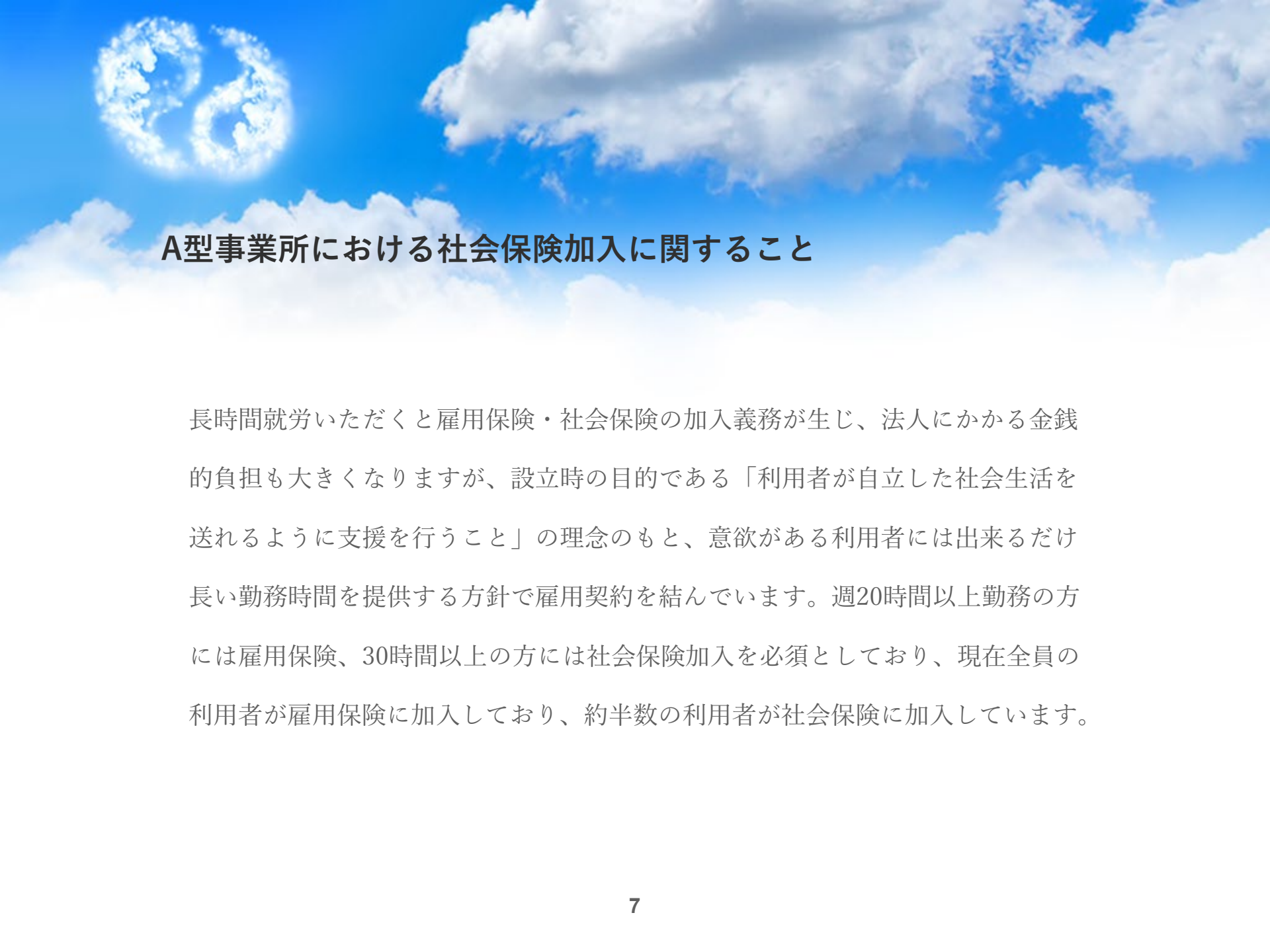
B型事業所

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全国平均	16,118	16,369	15,776	未公表
兵庫県平均	14,420	14,632	13,677	未公表
ネクスト	15,353	15,129	18,106	22,750



平均工賃について

厚生労働省が発表した、令和2年度の平均工賃は、やはり新型コロナウイルスが及ぼす影響があったのか、A型は兵庫県をはじめ減少した都道府県が多く、全国平均ではかろうじて微増に留まりました。B型に至っては、都道府県別でも全国でも大きく減少していました。ネクストでは、A型事業所は平均を大きく上回る給与の支払い実績があります。平均工賃を上げるためにはフルタイム就労される利用者さんを多くすることですが、それぞれの障がいの特性により、短時間就労を希望をされる方も少なくなく、そのニーズにもお応えしたいと考えています。令和3年度A型の平均工賃が微減したのは、短時間就労の割合が少し大きくなったという事情があります。B型事業所は令和2年度大きく上昇し、さらに令和3年度は目標として据えていた20,000円を大きく超えることができました。令和4年度はさらに上を目指し、25,000円以上を目標に掲げました。「週25時間就労」を設定されているの利用者さんですと、こちらも目標としていた25,000円を超える26,133円の実績となりました。A型・B型両方で、無料での送迎サービスを提供していますが、自力通所されている方には規定に従って交通費を支給しています。またA型・B型両方で夏・冬には賞与を支給しています。



A型事業所における社会保険加入に関すること

長時間就労いただくと雇用保険・社会保険の加入義務が生じ、法人にかかる金銭的負担も大きくなりますが、設立時の目的である「利用者が自立した社会生活を送れるように支援を行うこと」の理念のもと、意欲がある利用者には出来るだけ長い勤務時間を提供する方針で雇用契約を結んでいます。週20時間以上勤務の方には雇用保険、30時間以上の方には社会保険加入を必須としており、現在全員の利用者が雇用保険に加入しており、約半数の利用者が社会保険に加入しています。

事業内容

布団リサイクル事業

自治体と契約し、クリーンセンターから不要ふとんを回収し、ふとんの中わたを滅菌・洗浄してリサイクル寝具を製造しており、この活動はネクスト設立から続く中核を成す事業です。年を重ねるごとに行政からのご理解を多くいただくようになっていましたが、令和3年度は他の製造事業にも注力するため、若干引き取り契約を減らしましたが、7市2郡7か所の自治体クリーンセンターから115トンの廃棄ふとんの回収を行いました。「継続的な障がい者就労支援」「不要布団を回収・リサイクルすることでゴミの減量化」「焼却処分によるCO2の排出量削減」などSDG s の理念に合致する活動です。

布団回収実績（令和3年1月～令和3年12月）

回収先	重さ	枚数
自治体クリーンセンター	115,310 kg	46,851 枚



回収先自治体

加西市、西脇市、多可郡多可町、養父市、朝来市、大和郡山市、加古川市、丹波市、岐阜県安八郡輪之内町・安八町

地域住民の方の持ち込みや、ホームページを見て「捨てるのはもったいないし、近くでこのような事業をされているところがないから」と高額な送料を負担してまでもお送りいただいたりと、製造業としての付加価値と希少価値を感じます。また、令和3年度より企業と連携しEC事業により引き取る事業も始まり、多くの需要をいただくようになってきました。

寝具等製造事業

エアリーシリーズ

25年度から受注が始まったアイリスオーヤマのエアリーシリーズは、3年度も引き続き順調な受注があり製造を行いました。令和4年度も、引き続きエアリーシリーズの寝具類組み立て製造を受注していきます。



『チューニングピロー』シリーズ

田村駒株式会社様より令和元年度より受注しているチューニングピローの製造は、令和3年度も非常に多数の発注をいただきました。ネクストだけでは生産数が追いつかず、近隣B型事業所にも製造を委託し協力して作業に取り組みました。近隣事業所との提携を深め、生産量向上に努めていきたいと思っています。

寝具等製造事業

羽毛製品

クリーンセンターからの回収布団に占める羽毛布団の割合は一定量あり、安定した原料の確保と製造ができています。

低反発ウレタンリユースシリーズ

地域の民間企業と連携し、30年度から開始した低反発ウレタンリユースシリーズは令和3年度も多くの受注をいただきました。大手製造業から出る低反発ウレタン素材の端材を再利用し、低反発マットレスを製造をしています。またその端材をチップ状に破砕することにより、枕やクッションの製造も可能となり、新たな分野を開拓し販路も得ました。端材を廃材とせずリユースし尽くす事業は大変付加価値の高いものと自負しています。



その他の製造事業

防災毛布リユース事業

地域の民間企業と連携し、今年度から新規に大手企業と契約し、自治体の備蓄用防災毛布で一定年数を経たものを、きれいにしてまた圧縮パックに入れ
るリユース事業の受注を始め、順調に製造が進んでいます。



軍手製造事業

リサイクル綿を使用した軍手の製造・販売はeconteを中心に継続しました。西脇市・加古川市・加西市などの市町村や近隣地域区長会などから毎年一定数の受注があります。ネクスト全体の事業収入から見て決して大きな割合を占めるものではありませんが、それ以上に、「近隣行政や近隣コミュニティとの繋がり」、「リサイクルから生まれているという付加価値」という観点から見て、とても意義のある事業だと感じます。

資格取得支援事業

利用者の一般就労へ向かってのスキルアップを支援

～普通運転免許の取得への支援の継続～

ネクストは4市1郡という広大な地域で無料送迎サービスを提供しています。それは、ネクストが位置する多可郡は公共交通機関がほぼ機能していないということが大きく関係しています。都会と違い、一般就労への移行を目指すには、自力で通勤できる術を持つことが必須となります。そのため、運転免許取得の可能性がある方や意欲のある方には取得を勧め、支援も行っています。

【具体例】

- ・テキストの無償提供
- ・自動車教習所、自動車運転免許試験センターへの無料送迎
- ・自動車教習所入所の際の申し込み支援
- ・自治体の免許取得助成の申請支援
- ・事業所での勉強会の実施



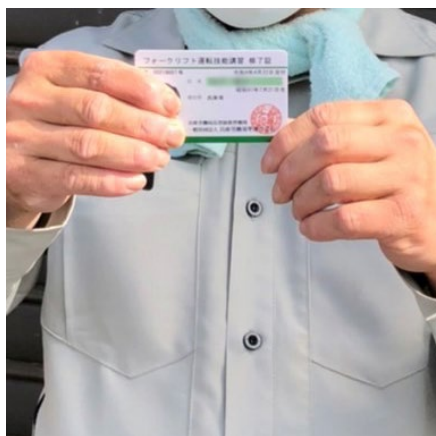
普通自動車	自動二輪	原付
5 名	1 名	3 名

これまでの実績

～フォークリフト資格取得支援の継続～

支援内容

- ・受講費用全額を法人で負担
- ・受講時間も勤務時間に算入することで、受講中の給与保障
- ・合格祝金の支給（就業規則に定めている）



新たに、この4月に見事フォークリフト運転資格を取得された利用者さんです。講習会も見学に行きましたが、就労中とはまた違った、別の顔やたくましい姿が印象的でした。

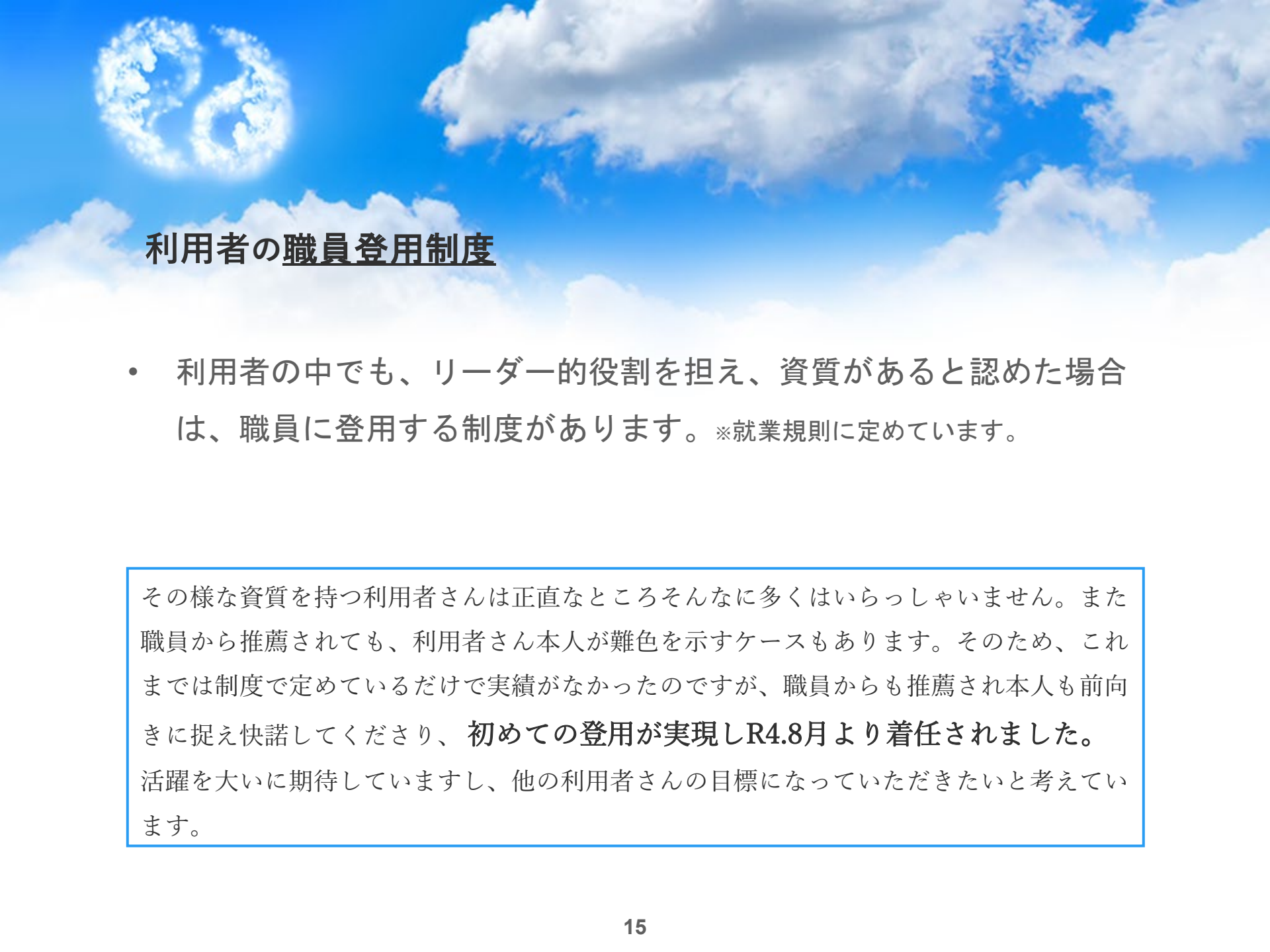
利用者と職員の資格取得を支援

- ・ 利用者の一般就労に向かったのスキルアップ
- ・ 職員の資質向上と支援能力向上

資格取得に対する支援強化の一環として「**資格取得支援規定**」を定め、運用を始めました。対象資格は下記の通りです。

- ・ 社会福祉士
- ・ 介護福祉士
- ・ 精神保健福祉士
- ・ 公認心理士
- ・ サービス管理責任者
- ・ 危険物取扱者
- ・ フォークリフト運転技能講習修了者

これらの取得に当たり、受講料や交通費、講習費用の補助、試験日における特別有給休暇の付与、合格祝金の支給、資格給の支給（一部の資格のみ）を行います。この制度が資格取得のハードルを下げることとなり、チャレンジへの後押しとなることを期待しています。



利用者の職員登用制度

- 利用者の中でも、リーダー的役割を担え、資質があると認めた場合は、職員に登用する制度があります。※就業規則に定めています。

その様な資質を持つ利用者さんは正直なところそんなに多くはいらっしゃいません。また職員から推薦されても、利用者さん本人が難色を示すケースもあります。そのため、これまでは制度で定めているだけで実績がなかったのですが、職員からも推薦され本人も前向きに捉え快諾してくださり、**初めての登用が実現しR4.8月より着任されました。**活躍を大いに期待していますし、他の利用者さんの目標になっていただきたいと考えています。

安全・健康・その他の取り組み

標準となりつつあるコロナ対策

新型コロナウイルスが猛威を振るい始めて数年が経ちました。

当初は目に見えない相手と戦っているようで、利用者も利用者

を守る職員も非常に神経質になっていました。ただ、助成団体や国や公的機関からの支援もあり、お陰様で空気清浄機や衛生用品などの完備をすることができました。また、ワクチン接種もほぼ全員が3回接種を済ますこともできました。これまでお一人の利用者が感染されましたが、幸いなことに事業所内に広がることなく、一度も活動に支障をきたすことなくここまで来れました。各関係者の皆様にこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。当初から始めた、検温や手洗い、消毒などは、事業者内ではもう標準となっており、今後も安全衛生の観点から継続していくべきだと考えています。



定期健康診断の実施

今年も3月に八千代工場で「定期健診」を実施しました。社会保険に加入している利用者・職員全員を対象に毎年実施しています。今年は34名が受診しました。受診日は送迎車両を利用して4事業所から対象者の送迎を行い、受診時間も給与保障をしています。後日の健康相談にも利用者2名が利用し、健康に対する意識が高まったようでした。社会保険に加入していない利用者には、町ぐるみ健診等を必ず受けるよう促しています。



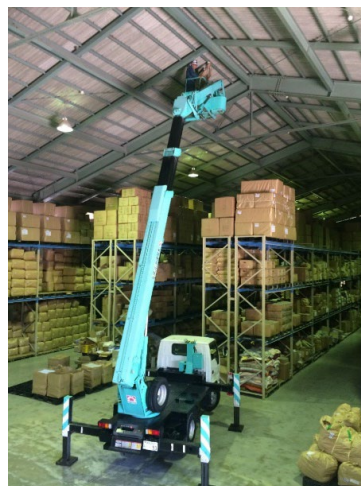
もしもの時の
AEDを設置

近隣の方も使える
ようにシールを
貼ってお知らせ



消防設備の充実

消火器具・動力ポンプ設備・自動火災報知設備・消防機関へ通報する火災報知器設備・誘導灯及び誘導標式。事業所にはこれだけの消防設備が設置してあります。また、いざという時に作動しないということがないよう専門業者に定期的に点検をしていただいています。通報訓練や避難訓練も定期的に行っています。



特別支援学校や地域とのつながり

ネクストでは、地域の特別支援学校や中学校の資源ごみ回収に、集めたアルミ缶を寄贈する活動を続けています。特別支援学校には卒業生も一緒に訪問することもあり、喜んでいただけます。特別支援学校では、アルミ缶はプルタブを外しつぶす作業を学習に取り入れられています。それを資源ごみ業者等にお渡しし、いただいたお金で作業や学習に使用する工具を購入されたりするとお聞きしています。先生方や生徒さんからも多くの感謝の言葉をいただきますが、集めた資源が再利用され教材として利用され、得られた利益が生徒の皆さんの工具などの購入に役立てていただけるなら、こんなに嬉しいことはありません。



また、地元の中学校の資源ごみ回収の際にも寄贈しています。「おはようございます!」「いつもありがとうございます!」の元気な声にいつもパワーをもらって帰ります。

どちらも地道な活動ですが、支援学校と繋がりを持ち、お一人でも多くネクストに興味を持ってくださったり、地域の活動に参加することで当団体の存在を、より認知していただけたらありがたいと考えています。

財団からの助成金

多くの財団よりネクストの活動にご理解をいただき、毎年度多額の助成金を頂戴しています。最近では神戸やまぶき財団と日本郵便年賀寄附金事業からのご助成により、八千代工場3棟の老朽化した水銀灯や蛍光灯すべてのLED化が実現しました。

「明るくなって作業がしやすくなりました。」

「明るくなると気持ちも明るくなります。」

等、嬉しい声が聞かれます。これまでに、消防施設、変電設備、送迎車やトラック、ボイラー、フォークリフト、検針機、ジャンボカーゴ等々多くの支援をいただきました。そのご支援があったからこそ、これまでの活動が円滑に行えて来たことは間違いありません。感謝申し上げると同時に、活動の意義に対する多くの財団からの賛同と声援であると僭越ながら自負しています。





抱負と展望

就労継続支援A型事業所は、福祉的側面と企業的側面を併せ持つという意味で、独特な運営を求められます。福祉面、事業面どちらかに軸足を置きすぎると運営に支障をきたし存続できません。このバランスが極めて難しく今後へ向けても引き続き大きな課題となりますが、運営する意義は大きなものがあります。ネクストは利用者の就労面や生活面を支援しながらも、福祉事業所という名の上にあぐらをかかず「民間企業に負けないものづくり」を今後も追及していきます。

ネクストには、開所した約10年前から「人と地球にやさしいものづくり」をモットーとした福祉面、環境面への貢献という一つの大きな理念がありました。昨今でこそ社会全体でSDGsへの認知度は高まりましたが、その頃はネクストの活動への理解も乏しく、形骸化されていると感じていました。この10年の間で社会がSDGsに大きく舵を取り、企業としてもその流れに準ずるところが多くなり、以前からSDGsの理念に合致する活動をしているネクストに関心を寄せていただける機会が増えてきました。その様な追い風の中で販路が広がり順調な受注をいただくこととなっており大変感謝しています。今後もこの理念のもと、ますますの飛躍を目指していきます。



最後に

令和3年度は長引くコロナ禍にありながらも順調な受注があり、事業収益も、大きく増収となった前年度と遜色ない結果となりました。これは利用者の頑張り、職員の努力はもとより、行政や地域の皆様のご支援とご尽力の賜物であると心より感謝しています。ただこれも令和4年度以降を担保するものではなく、今後も利用者に滞りのない就労を継続的に提供するためには、現状に甘んじず先を見据え、新商品の企画や販路の拡大などの取り組みが必要となります。「人と地球にやさしいものづくり」の理念のもと、福祉と環境に寄与すべく精一杯の努力をしてまいりますので、今後とも皆様のご指導とご支援をいただけますようお願い申し上げます。



本紙の活動内容は、令和4年5月に通常総会（今年度はコロナ禍に配慮し書面表決による総会）にて報告し、会計報告と共に承認をいただきました。

また、令和4年5月31日に開催した理事会でも会計報告と共に承認されました。

※一部、その後に追加したトピックスもあります。

特定非営利活動法人ネクスト

代表：理事長 坂口和彦

兵庫県多可郡多可町八千代区下村69-1

TEL：0795-37-2701 FAX：0795-37-2838

<https://next-mirai.org>

next@ecozou.co.jp